

調査世帯の皆様には日々お忙しい中、長期間に渡り家計消費状況調査にご回答いただき、ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

この調査の結果からは様々なことが分かりますが、その中から幾つかをご紹介します。

その1 9月に多いビデオカメラの支出

家計消費状況調査では、調査品目（商品、サービス）がいつ、どのような世帯で、どれくらい購入されているか、といったことを集計し、公表しています。

その中から、ビデオカメラへの支出について見てみましょう。まず、月別にみると、運動会などの行事が近い9月が最も多くなっており、次いで、入学式前の3月となっています（図1）。

次に世帯主の年齢階級別にみると、39歳以下の世帯が最も多くなっていきます（図2）。

図1 月別1世帯当たり1か月間のビデオカメラへの支出金額（二人以上の世帯 2012～2014年平均）

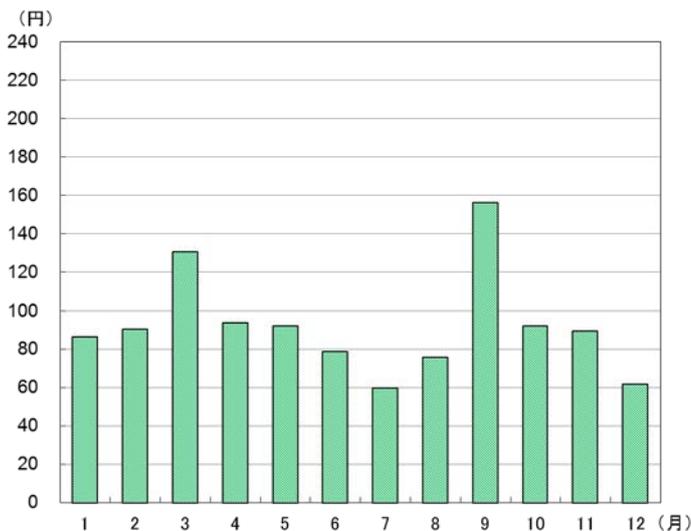
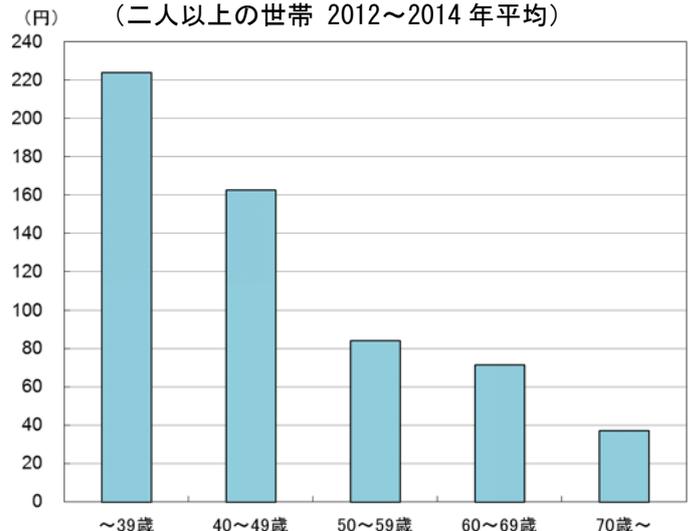


図2 世帯主の年齢階級別1世帯当たり1か月間のビデオカメラへの支出金額（二人以上の世帯 2012～2014年平均）



統計局からのお知らせ

- 統計局では、スマートフォン・タブレット端末で簡単・手軽に統計データを入手できる「アプリDe統計」を提供しています。お使いのスマートフォン・タブレット端末から、Android版（Android OS 4.0.3以上で利用可能）は「Google Play」より、iOS版（iOS 7.0以上で利用可能）は「App Store」よりインストールすることができます。ぜひご利用ください。
- 統計局では、平成27年10月1日に「平成27年国勢調査」を実施します。国勢調査は、日本国内に住むすべての人と世帯を対象とする、国の最も重要な統計調査です。国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、5年に一度実施されます。国勢調査へのご協力をお願いいたします。
Facebookでも最新情報を配信中です。 URL <https://www.facebook.com/kokusei2015>

家計消費状況調査については、総務省統計局のホームページでも紹介しています。

URL <http://www.stat.go.jp/data/joukyou/index.htm>

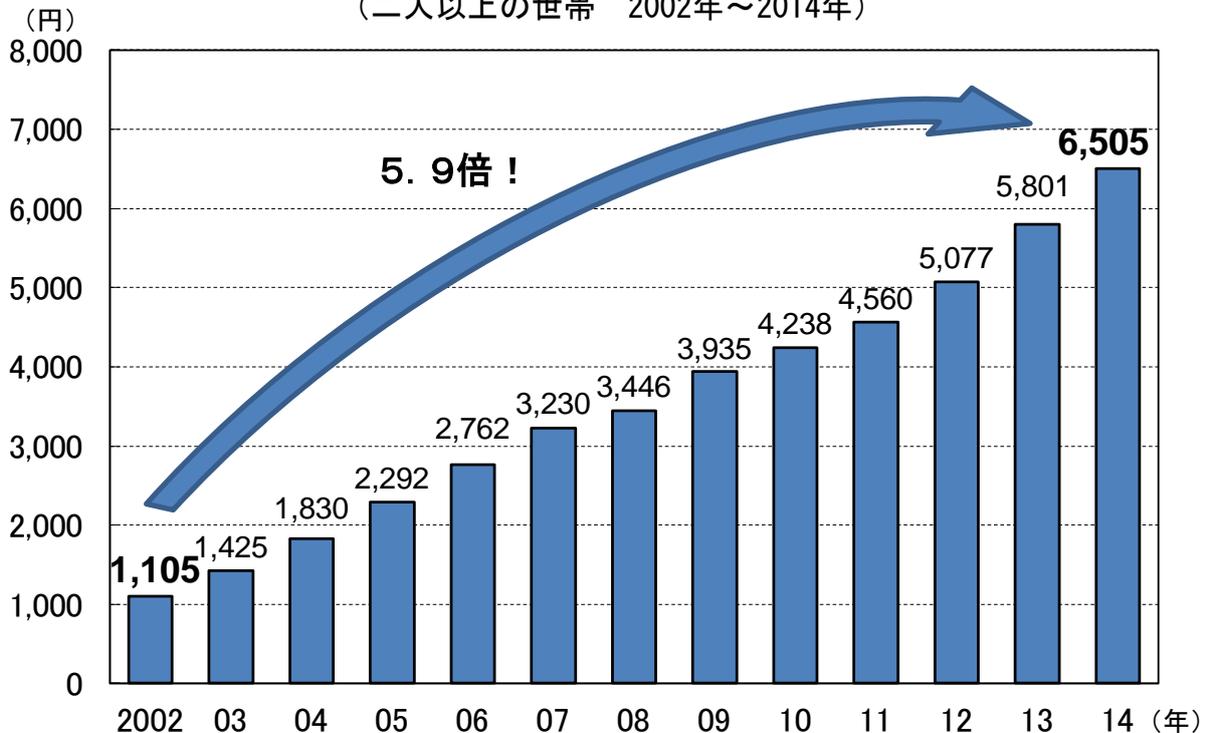
家計消費状況調査

検索

その2 急増するネットショッピングの動向

皆様にご記入いただいた調査票Bの4ページにある「インターネットを利用して購入した商品・サービスの支出総額」からは、いわゆる「ネットショッピング」の支出額の動向が分かります。その結果を見ますと、家計消費状況調査を開始した2002年から直近の2014年までの12年間で、5.9倍になっています。

図3 1世帯当たり1か月間のインターネットを利用して購入した商品・サービスの支出総額
(二人以上の世帯 2002年～2014年)



※ 上記は、インターネットを利用しない世帯も含めた、二人以上の世帯全体の平均支出総額です。

調査票に記入する際に、次の点についてもう一度確認をお願いいたします

○ 調査票Bの3ページにある「今月の支出総額」には、同調査票の2～3ページにある「特定の商品・サービスの購入金額」の品目（44品目）以外の、次のような支出も含めた世帯全体の1か月の支出総額を記入してください。

- ① 食費（食料品、飲料、外食費など）
- ② 電気料金やガス料金、家賃などの毎月支払うような定期的な支出金額
- ③ 交通費や診療代などの日々の支出
- ④ 仕送り金と贈与金（祝儀、せん別、見舞金、香典など）
- ⑤ その他の支出（授業料などの調査月に特に支払ったもの）

支出総額に含める

内訳としての「食費」、
「仕送り金と贈与金」

	千	万	百	十	万	千	百	十	円
今月の支出総額（世帯全体の合計。消費税込み）	2	9	1	1	9	4			円
うち 食費（食料品、飲料、外食費など）	6	9	9	2	6				円
うち 仕送り金と贈与金（祝儀、せん別、見舞金、香典など）	1	0	0	0	0				円

「政府統計の総合窓口（e-Stat）」でも、統計データ等の各種統計情報をご覧いただけます。

URL <http://www.e-stat.go.jp/>

e-stat

検索